



北米ホーリネス教団  
オレンジ郡  
キリスト教会  
「週報」

2013年の努力目標

1. 朝の15分の祈りを大切に。
2. 1日2章の聖書日課に励む
3. 日ごとの写教に励む
4. 定期の祈り会に参加
4. 聖書研究・家庭集会への参加
5. 礼拝欠席の時は牧師に連絡を。

◎集会案内◎

日曜 礼拝 : 9:30~10:45am  
 コーヒー・アワー : 日曜日 10:45~11:15am  
 聖書の学び : 日曜日 11:15~12pm  
 みふみ会 : 水曜日 10am  
 定例祈禱会 : 水曜日 7:30pm  
 早天祈禱会 : 土曜日 7am  
 家庭集会 : 各地区に2箇所  
 牧 師 : 杉村 幸 (日語部)  
 : 益田デーロ (英語部)  
 電 話 : (714) 827-6244 (教会)  
 : (714) 527-1456 (牧師館)  
 E-Mail : sugimura1950@gmail.com  
 教会ホームページ : www.occc.org  
 教会所在地 : 4872 Bishop St.  
 Cypress, CA 90630

石 叫 口

◎石叫■

「置き去り」

サハリン残留日本女性の六十年という副題で『置き去り』という本を読んだ。今まで知らなかった日本昭和史の暗部ともいべき世界で、実に心が痛んだ。日露戦争に勝ち、一九〇五年、ポーツマス条約によりサハリンの北緯五〇度以南の地域を割譲されて以来、第二次世界大戦後に、ソビエト連邦に占有されるまでの四十余年間、その地は日本の領土だった。日ソ戦が始まった当時、樺太には三〇〇四〇万人の日本民間人と二万人の日本人軍人がいたと言われている。日本の敗戦は一九四五年の八月十五日だったが、旧樺太の敗戦は八月二十二日。ソビエトが日ソ中立条約を一方的に破棄して八月九日に国境を越えて侵攻してからの十四日間、凄惨な地上戦が行なわれた。一九四六年の引き揚げ協定で、一九五〇年までに日本人引き揚げが完了し、残留日本人はいないと日本政府は明言してきた。にも拘らず、今も残留日本人女性が帰国できずにいる。

戦後五十六年、二〇〇一年の段階でサハリン残留日本人約四百人、そのうち七割が女性とされている。その多くは恩ある地元で養父母を置いて帰れなかったり、国際結婚を強制された人たちで、ロシア兵の暴力から身を守るための手段でもあった。また幼い子供たちを連れて帰るにも、ロシア人、北朝鮮人、韓国人たちと結婚して生まれた子供たちが内地でどのように生きてゆくかをおもなばかった彼女たちは残留した。しかも永住帰国の場合、子供たちの一部しか帰れない。戦後、サハリンでは敗戦民族として虐げられて生きねばならず、日本人であることを隠し、日本語も使わずに身も心も縮こませ、子どもにさえ日本人であることを秘して生きねばならなかった。そのような中で一九九〇年に日本人十二名の初めての一時帰国が実現した。夫が先立ち、子どもたちも独り立ちし、やっと自由の身になった人たちであった。戦後五十五年も経っていた。

約束の地を望み見ながら、そこに渡ることのできなかった人物がいる。モーセである。彼は「どうぞ、わたしにヨルダンを渡って行かせ：あの良い地：を見ることのできるようにしてください」(申命記三・25)と神に懇願しているが、民の苦情に怒った彼が、それによって理性を失い神への敬虔さまで失ったことが原因である。それは彼の生涯の禍根であり、一つの罪をも赦さない旧約時代の悲劇でもあった。でも彼のことは、主イエスの永遠の世界を望郷していた(ルカ二四・44)。一方、晴れた日にはサハリンからかすかに見えるという北海道、その望郷の思いは彼ら日本人女性にとっていかばかりであったことか。

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は1977年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は1921年に創立され、現在は日英両語合わせますと2000名を越える会員になります。

私たちの教会は18世紀に、英国で始まったジョンウェスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

